

TOEIC700点台でも、VERSANTスコアで TOEIC900点台を上回る人が続出！ 英語力の「強み」と「弱み」が分かるVERSANT



2018年10月22日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社は22日、全国一斉英語テスト「第1回 VERSANT英語スピーキング・チャレンジ」の10月17日までの中間報告（3回目・速報値）をまとめました。受験者の平均スコアは45点と依然高いスコアを維持しています。

日本で「英語ができるレベル」とされるTOEIC730点以上の受験者の、VERSANTスコア平均は47点でした。VERSANTの47点は、「英語を使って仕事ができる」ための最初の目標スコアです。

「英語のプロ」とされるTOEIC900点以上でも、VERSANTスコア45点を下回る受験者も多くいます。一方で、TOEIC700点台でも、VERSANTスコアではTOEIC900点台を上回る受験者が続出しています。またTOEIC500点台でも、ネイティブと交渉できるレベルに近いVERSANTスコアを獲得した受験者もいるなど、VERSANTスコアとTOEICスコアの相関から様々な傾向が見えてきました。

中間結果のポイント

・受験者の**VERSANTスコア平均は45.3点**

⇒日本人平均（38点）を7点も上回る高水準を維持

・受験者の**TOEIC申告スコア**の平均は**794点**

⇒TOEIC800点台のVERSANTスコア平均は47点

⇒TOEIC700点台のVERSANTスコア平均は42点、全体平均を下回る

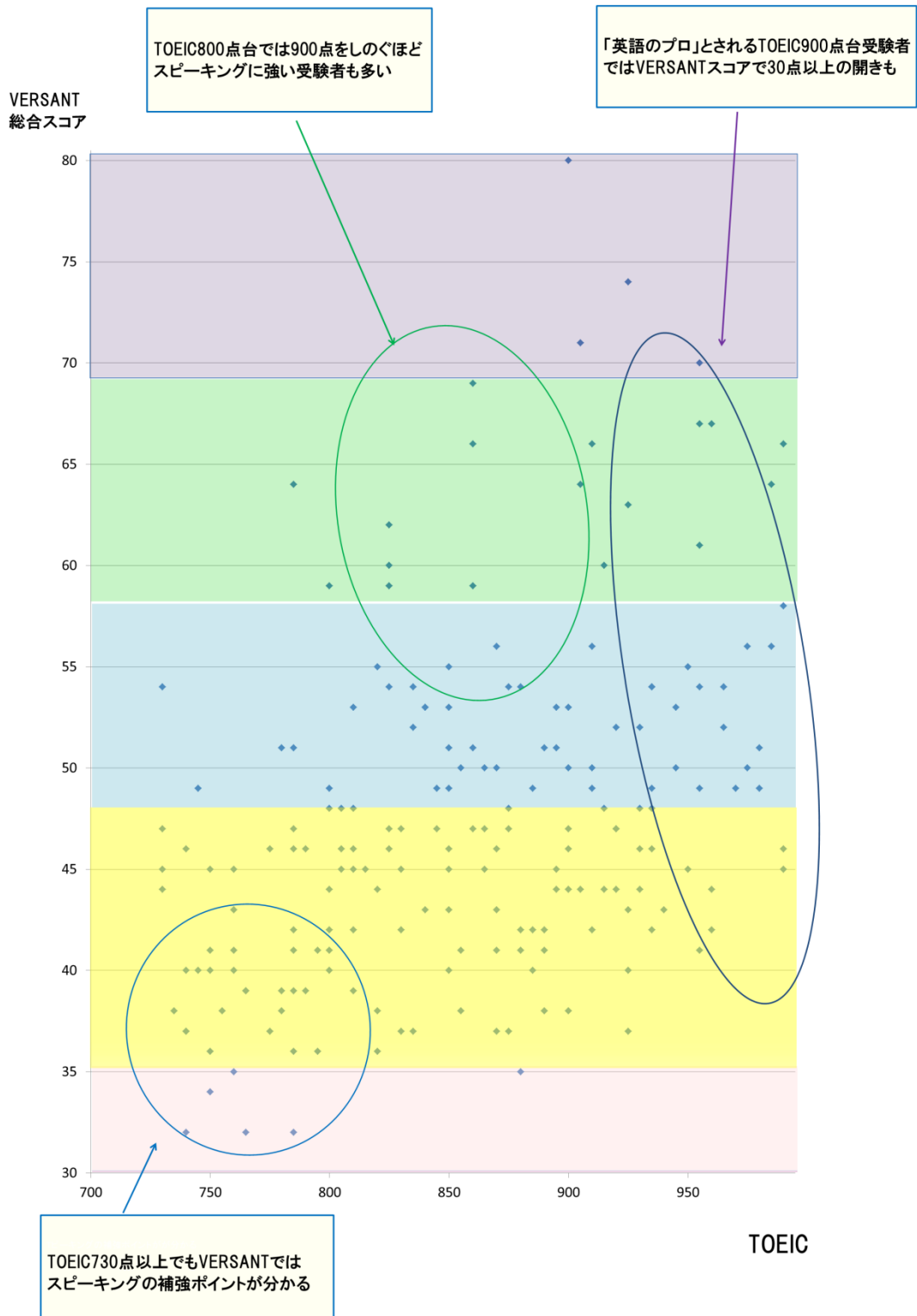
・**スキル別スコアで「強み」と「弱み」が顕著に**

⇒「語彙」の平均スコアは50点、日本人平均より9点高い

⇒「発音」の平均スコアは40点、日本人平均を3点上回るのみ

VERSANTスコアとTOEICスコアの相関

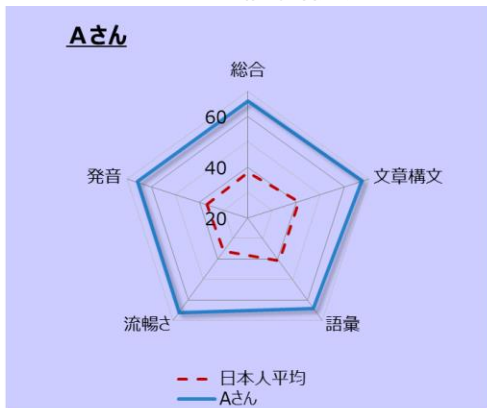
※受験者の一部の方々のスコアを抽出して作成



TOEICスコアを申請した受験者の一部について、VERSANT総合スコアとの相関をグラフ化。
TOEICスコアが900点以上でも、VERSANTスコアは30点以上の大きな開きが。

スキル別スコアチャート例

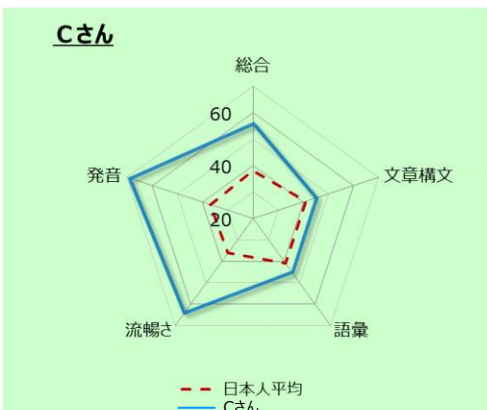
TOEICは満点の990点で、4指標ともに高スコア



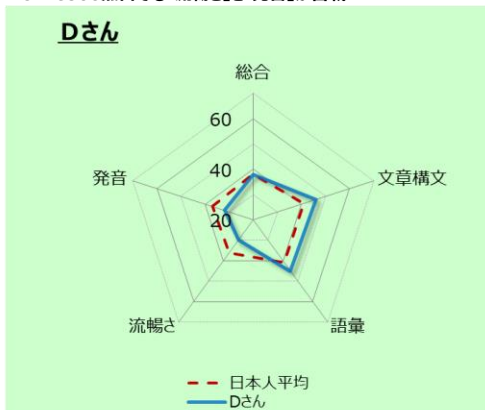
TOEIC900点台でも「流暢さ」の強化が重要



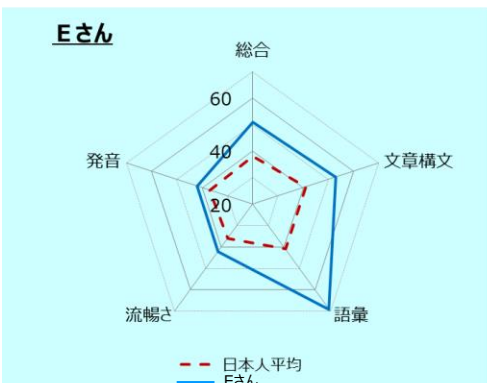
TOEICは800点台後半、日本人が苦手な「流暢さ」「発音」で高得点



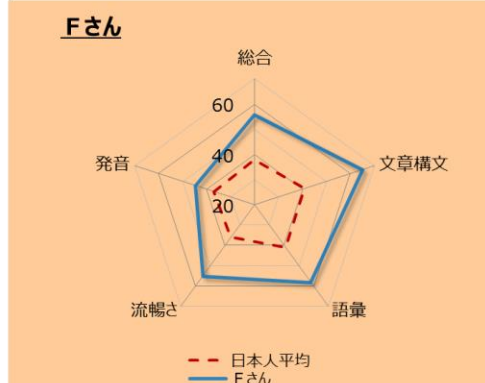
TOEIC800点台でも「流暢さ」と「発音」が苦戦



TOEICは700点台後半、リスニング力の語彙はネイティブに近いレベル



TOEIC500点台でも、900点台以上のスピーキング力を発揮



スキル別スコアには様々な傾向が見られる。スキル毎に「強み」と「弱み」を把握し
コミュニケーション力を高めるために効果的な学習を進めていく必要がある

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」締め切り迫る！

受験期限を11月11日（日）まで延長！まだチャレンジしていない方はお急ぎください。

申込期限も10月31日（水）まで延長しました。

<https://www.versant.jp/campaign/201807/>